

# 天皇皇后両陛下の間に 支部会員・竹原栄太郎さん作「肥後こま」



皇室ウィークリー（741）から

熊本市で開催された「第4回アジア・太平洋水サミット」に天皇、皇后両陛下はオンラインで参加されました。4月23日水に関わる活動に取り組む高校生との懇談の場面では、皇居・御所のお二人が座られた間にはくまモンと肥後こまが置かれていました。この肥後こまは、支部広報委員のを竹原さんが製作したものです。

## 竹原さんにインタビューしました



製作中

※肥後こまを作り始めた動機があったのですか？

『前職時代の50才を過ぎた頃に「終身現役」の仕事を探していました。丁度その頃、「肥後こま」との出会いがありました。熊本県の伝統的工芸品でもある「肥後こま」を作製し、継承することが自分に与えられた天職ではないかと思うようになりました。』

※肥後こまを作る時の心がけることは何ですか？

『肥後こまは子どもの遊び道具であり、縁起物の贈答品としても愛用されるものです。良く回り、長く回ることが重要です。「芯振れ」や「台振れ」のないことが求められます。品質を確保した製品づくりを心掛けています。』

※今後の予定はありますか？

『自分では80歳まで「終身現役」で製作を続けることに加え、熊本県支部大会の寿太極拳に参加することが自分の希望(夢)です。』



作品

写真を見てどんな感想ですか？

『今回、写真の掲載にあたり、事前に相談を受けました。  
熊本県を代表するくまモンと並んで「肥後こま」のチョンカケ等を  
天皇陛下と皇后陛下の後ろに飾っていただいたことは大きな励みと支  
えになります。』



共に喜ぶ太極拳の仲間たち

